



オープニング式典



テープカット

三島市と清水町の市町境を流れる境川沿いに位置する「境川・清住緑地」は、市街地の中にありながら、富士山のもたらす湧水や多様な動植物が生息する、自然環境を残しています。

今回、養魚場跡地を活用し、豊富な植物や水生生物を残しつつ展望デッキや遊歩道などを整え、「境川・清住緑地の拡張部分」が令和2年8月1日(土)オープンしました。

オープニングセレモニーでは豊岡三島市長より、「これから本格的な夏が始まります。三島駅から楽寿園、源兵衛川を経て、今回拡張した境川・清住緑地を觀賞し、柿田川へ通じる水辺のウォーキングコースを楽しんで下さい。」との挨拶がありました。そして境川を渡る橋の前でテープカットです(写真上左右)。



湧間の展望デッキ1



湧間の展望デッキ2

清住緑地は今回の整備で2,100㎡が拡張され、全体で10,000㎡です。そしてテープカットされたその先にある橋を渡ると…なんと見事な…湧水が勢いよく出ています。展望デッキより湧間を身近に見ることができます(写真上左右)。



木道デッキ1



木道デッキ2

ゆっくりと流れる水を見ながら…また流れる水の音色を聞きながら、木道を歩いてみました。足元を気にせず、周りの風景に専念でき快適な木道です。今日はオープニング初日、関係者の方々、そして家族連れ、年配の方々、多くの皆さんがウォーキングを楽しんでいます(写真上左右)。



[湧間のある池](#)



[境川](#)

さらに先に進むと、湧き水のある美しい池が現れました(写真上左)。その脇には爽やかな音色の境川が流れています(写真上右)。



[木道デッキ3](#)



[木道デッキ4](#)

木道デッキを進むと…周り是一片、自然豊かな環境が広がります。家族連れ、子どもたちがタモを持って、虫とり、魚とりに夢中です(写真上左右)。



[富士山と湧水](#)



[木道デッキ5](#)

この周辺に見られる多くの湧水は、水辺を好む生き物を育んだり、農業用水として使われています。現在の地下には、約1万年前に富士山から流れてきた溶岩流が埋もれています。富士山の雪解け水や雨が、亀裂やすき間の多いこの溶岩の中を通り、溶岩の末端に近いこの地域に豊富な湧水をもたらしています(写真上左右)。



[案内看板](#)



[ピオトープ](#)

昆虫: 色々な昆虫が生息していますが、水辺で繁殖するトンボは特に種類が多く、26種類のトンボが確認されています。

植物: 湿地の中に森を作るハンノキや、流れる水の近くで育つミゾソバなど、湿地や水辺を好む植物がたくさん見られます。特に湧水の中にゆらめくミシマバイカモは清流のシンボルともいえます。

野鳥: 狭く浅いせせらぎから広く深い丸池まで、さまざまな水環境のあるこの場所にはカモ類やサギ類、カワセミなどさまざまな水鳥が集まります。また、水辺を囲む木々にも多くの野鳥が見られます。

ここは、そんな風景が見られる…ビオトープ…生物生息の空間です(写真上右)。



[丸池公園1](#)



[丸池公園2](#)

近くには清水町の丸池公園も完成し(写真上左右)、水辺空間がさらに広がりました。



[丸池公園3](#)



[丸池公園4](#)

丸池公園内には、子どもたちが水着で入れる水遊び場(写真上左)、きれいで使いやすいトイレ(写真上右)なども設置されています。

源兵衛川や柿田川とも一体となった、水と緑の新名所…「境川・清住緑地」で豊かな自然を感じてみてはいかがでしょうか。

【アクセスなど】

- ・所在地: 三島市清住町6番地先
※駐車場がないため、ご来場の際は、徒歩や公共交通機関をご利用ください。
- ・東海バス: 三島駅南口(4番乗り場)から沼商行「玉川」停留所下車、徒歩5分
- ・市内循環バスせせらぎ号: 「清住緑地入口」停留所下車、徒歩5分

取材: 中伊豆地区担当 生きがい特派員 安藤 智章